

令和5年度 年間事業計画

萩原保育園

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症を5月8日より現在の2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げるという国の方針や、それに伴う保育課からの指導を踏まえ行事や活動内容の再検討を行いながら保育を進めていく。引き続き新型コロナウイルス感染症対策については、消毒の徹底や子ども及び職員のマスク着用についての適正な対応や、感染拡大の予防に努め、安全安心な保育の提供を心掛ける。

また保育所における安全計画の策定に伴う見直しを行い、園の安全管理、災害対策、事故及び不審者対策等訓練を充実させ、職員一人一人の安全対策への意識を高め、日々の生活の安全確保に努める。園での取り組みや訓練等の実態は保護者や地域に発信し、保護者や地域の方々の理解・協力を得られるよう働きかける。

職員は安全で衛生的な環境を整え、子どもが温かい関わりの中で安心して過ごしていけるように、保育者としての人間性と専門性の向上に努め、保育の仕事に誇りと責任を持てるよう園内外の研修に取り組んでいく。

保護者参加行事等の、年間行事については、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、全職員が子どもたちの育ちを支える内容として適切かを、考慮しながら検討し進める。

【令和5年度の重点的取り組み事項】

1. 保育内容の向上

- (1) 主任を中心として職員間の意思疎通を図りながら、保育士同士で保育に関する話し合いの場をできるだけ設け、保育の質の向上に努めていく。
- (2) 年間行事は、内容や活動の取り組み方法を工夫し、子どもが主体となるよう計画実行していく。
- (3) 0歳児担当制については、より一層細やかな保育ができるよう話し合いを進め、計画し実施する。
- (4) 園内研修の取り組みの充実
 - ・副主任と専門リーダーが中心となり「子どもの人権」をテーマとした法人内研修の取り組みを基盤として園内研修への理解を深める。
 - ・職員が主体的に参加し学ぶことの出来るように工夫を行う。
 - ・職員自身の学ぶ意欲が高まるよう、研修計画を職員と共に作り上げていく。
- (5) 当法人内6施設における法人内研修の取り組み
 - ①不適切保育がクローズアップされ、保育者の資質が問われる中、保育所保育指針に謳われている『子どもの最善の利益』や『子どもの人権・人格の尊重』の観点を再度、捉え直し、より質の高い保育を考える。
 - ア 令和5年度は専門リーダーに副主任1名を加えて、参集方式で年4回開催する。
 - イ 研修テーマは『子どもの人権』を基本に、「ことば」「コミュニケーション能力」「配慮の必要な子どもの対応」等に幅を広げながら、保育者の関わり方を考えていく。
 - ウ 法人内研修のテーマを各園で園内研修として取り組み、自園の課題等を分析し、6園で調査・研究を進めていく。
 - エ 講師を招いての研修会を行い、職員全体の意識向上に努める。
 - ②「保育士の心得（冊子）」を周知し、職員の共通理解、意識の向上を図る。

2. 円滑な園の運営と充実を図る（全て新型コロナウイルス感染症の様子を見ながら、実施）

(1) 地域交流

年4回地域の年長者との交流や近隣の老人施設との交流の充実を図る。

(2) 未就園児交流

子育て支援「あそぼう会」の再開・青山市民センターでの出前育児を行う。

(3) 保小の連携

青山小学校との交流の充実

3. エコ活動の取組

リサイクルの取組→ダンボール・ペットボトルのキャップの青山市民センターへの持ち込みを継続していく。地域清掃の機会を増やしていく。

4. 施設整備及び管理

(1) 空調設備の全取り換え工事が昨年完了したので、空調設備以外の園舎外の倉庫の水はけ改良作業や経年劣化による雨どいの修復等を行う。

(2) 園舎に関しても保育室内の床・出入口扉・鍵などの修繕箇所が増えることが予測されるため、計画的に修繕を行う。

【4月入所予定児童数】

定員120名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月入所予定児童数	4名	22名	21名	17名	18名	22名	104名

【一時保育利用状況 見込数】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
10件	20,000円	0件	0円	10件	20,000円

※通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

保育園に来た子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるように心がける。

≪ 職員配置 ≫ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【延長保育利用状況 見込数】

利用登録人数(年間)	150名	平均実利用者数	5名
------------	------	---------	----

※長時間保育になるので、ゆったりとくつろげる雰囲気作りに心がける。

縦割り保育の利点を十分に活用し、保育を行う。

≪ 職員配置 ≫ 正規保育士・臨時保育士 各1名（ローテーション・時間外にて対応）

1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人一人の特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

- (1) 十分に養護の行き届いた温かい環境をつくる。
- (2) 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間性の輪を広げる。
- (3) 園外保育や地域の行事を積極的に取り入れる。
- (4) 日常生活の会話を通して豊かな言葉を養う。
- (5) さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を培う。

3. 保育目標

一人一人の子どもの個性を大切にしながら、心身共に健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基本を培う。

- ・ 健康で元気に活動できる子ども
- ・ 自分で考えて行動することができる子ども
- ・ 思いやりのある優しい心をもつ子ども
- ・ 人の言葉や話などを聞き自分で思ったことを伝えられる子ども

○ 保育内容

年齢（月齢）別に指導計画を立て、子どもの「やりたい」気持ちを尊重しながら安定した生活が送れるようにする。

- ・ ゆったりとした楽しい雰囲気の中で、基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 友達との遊びを通して、社会性・協調性・仲間意識・友達への思いやりが育つようにする。

○ 行 事

年間行事(地域交流) 予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊び遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・ 生活発表会、運動会等は一人一人を大切にしながら全児を公平に参加できるようにする。

○ 安全対策

- ・ 避難訓練を毎月1回、多様な場面・時間を想定して行う。年1回は消防署立ち会いの総合訓練を行う。
- ・ 交通安全指導及び設置遊具の安全指導を行い、合わせて安全点検を随時行う。
- ・ 施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員の共通理解や体制づくりを図る。
(様々な災害に対してのマニュアル等の再点検と修正、不審者の立ち入りなどの緊急時の体制、火災発生時の体制、地震・風水害時の体制等)

- ・ 「ヒヤリ・ハット」の報告を大切に、園全体で情報を共有し安全保育に努める。
- ・ 送迎時における安全確保のため、駐車場内での子どもの車の乗降や手をつないで園内に入ることの周知徹底をはかる。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒等については、常に衛生管理に気を付け、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の在宅乳幼児を園に招き、交流をもつ。
- ・ 地域の年長者を招待し、交流を行う。
- ・ 小学校との交流体験を行う。
- ・ 卒園児を招待し、在園児との交流を深める。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

○ 保育担当

クラス担当保育士、調理業務担当、事務担当を定める。

○ 職員研修

- ・ 全国大会をはじめ県、市が行うものまた、保育士会、社会福祉研修所の各種研究研修会に参加する。
参加した者は報告を行うと同時に、園内研修へと広げていく。
- ・ 毎月の職員会議において、指導計画の立案、問題点について話し合い共通理解をもつ。

4. 保育担当者 (別紙2の通り)

5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市八幡西区青山一丁目7番50号 1, 162. 73㎡

(2) 建物 鉄筋コンクリート造 2階建 819. 75㎡

6. 資金計画

通常経費は、
 ・委託費収入 ・利用者等利用料収入 ・補助金事業収入
 ・その他の事業収入 ・借入金利息補助金収入 ・受取利息配当金収入
 ・受入研修費収入 ・利用者等外給食費収入 ・雑収入

等によるものとする。

【 令和5年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	令和5年度 入園・進級式 *各クラスにて 園庭安全指導 交通安全指導	全 児 全 児 全 児	保 育 園 内 保 育 園 内・園 庭 保 育 園 内・園 庭
5 月	健康診断 1回目 職員健康診断 親子ふれあい遠足 シルエット劇観劇 不審者訓練	全 児 職 員 全児・保護者 年 長 児 全 児	保 育 園 内 健 康 セ ン タ ー グ リ ー ン パ ー ク 未 定 保 育 園 内
6 月	保育参加・給食試食会 卒園児交流会 歯科検診	全児・保護者 全児・卒園児 4・5歳児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
7 月	七夕まつり プール開き おまつりごっこ プラネタリウム見学	全 児 全 児 全 児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 ス ペ ー ス L A B O
8 月	プール納め	全 児	保 育 園 内
10月	大運動会 健康診断 2回目 青山小学校音楽会見学 青山市民センターまつり参加 消防総合訓練	全児・保護者 全 児 4・5歳児 3・4・5歳児 全 児	青 山 小 学 校 保 育 園 内 青 山 小 学 校 青 山 市 民 セ ン タ ー 保 育 園 内
11月	親子クッキング 車椅子バスケット観戦 交通安全指導	年長児・保護者 年 長 児 年 長 児	保 育 園 内 総 合 体 育 館 交 通 公 園
12月	生活発表会 クリスマス会 ミニ発表会 もちつき大会 年末地域清掃	全児・保護者 全 児 全 児 全 児 全児・地域住民	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 周 辺

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 月	縦割り保育 郵便ごっこ たこ作り・たこあげ大会	3・4・5歳児 3・4・5歳児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
2 月	節分・豆まき 保育参加・講演会	全 児 全児・保護者	保 育 園 内 保 育 園 内
3 月	ひなまつり お別れ遠足 お別れ式・お別れパーティー 卒園式 修了式	全 児 全 児 全 児 4・5歳児 在 園 児	保 育 園 内 未 定 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内

1. 月例行事

- ・ 誕生会 ・ 避難、消火訓練（不定期～地震・水害） ・ 身体測定
- ・ 給食関係職員O-157検査 ・ 定例職員会議 ・ 園内研修 ・ 図書貸し出し
- ・ 毎月始め～園便り ・ クラス便り（必要に応じて）
- ・ 献立表・給食便り発行

2. その他

- ・ 一日保育士体験、中・高生の保育園実習 ・ ボランティア体験学習受け入れ
- ・ 小学校との交流（年間4回程度） ・ 萩原遊ぼう会（年間6回程度）
- ・ 年長者交流会（年間4回程度） ・ 日帰り保育（年長児） ・ 個人懇談
- ・ 消防設備機器点検 ・ 設置遊具等の安全点検
- ・ 月曜集会（3歳以上児）・月曜集会体操（全児）
- ・ 青山まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。
- ・ 事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者、調理員としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加できるようにする。

4. 青山市民センター及び育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。

※ 令和5年度保護者説明会・クラス懇談会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止し、在園児はきっぷノートにて説明会内容を知らせ、新入児は入所面接時に書類配布し、説明を行う。

※新型コロナウイルス感染状況によっては、延期または中止となることがある。